

会議結果

次の附属機関等の会議を下記のとおり開催した。

附属機関等の名称	令和5(2023)年度第2回みよし市地域公共交通会議		
開催日時	令和5(2023)年8月28日(月) 午前3時から午後4時30分まで		
開催場所	みよし市役所3階 研修室3・4・5		
出席者	<p>【副会長】松本幸正※会長欠席のため、会長代理</p> <p>【委員】伊藤久司 鈴木壽 増岡庶 大野淳 大竹宏(代理 加藤水竹) 山口直毅 大橋成和 花村元気(代理 森崎満夫) 宮川高彰 石屋義道(代理 江崎嘉彦) 増岡浩仁 村松具己(代理 中根卓矢) 野澤雄二 新谷千晶 吉井涼華 舟橋伸幸</p> <p>【事務局】都市建設部部長 都市計画課長 都市計画課副主幹 都市計画課副主幹 都市計画課主事 都市計画課技師 福祉課長 福祉課副主幹 長寿介護課副主幹</p>		
次回開催予定日	令和6(2024)年1月頃		
問合せ先	<p>都市建設部都市計画課 担当 原田、森</p> <p>電話番号 0561-32-8021</p> <p>ファックス番号 0561-34-4429</p> <p>メールアドレス toshi_k@city.aichi-miyoshi.lg.jp</p>		
下欄に掲載するもの	・議事録全文	・議事録要約	要約した理由
典 礼 近藤都市計画課長	<p>定刻になりましたので、ただいまから令和5年度第2回みよし市地域公共交通会議を開催いたします。</p> <p>委員の皆さま方におかれましては、大変お忙しい中、御出席いただきまして誠にありがとうございます。</p> <p>本日の会議ですが、会長の伊豆原様から体調不良により欠席される旨の御連絡をいただきましたので、みよし市地域公共交通会議要綱第4条第4項の規定により、副会長の松本様に職務を代行いただきたく思います。</p> <p>なお、本日は久野委員、小林委員、村田委員からも御欠席の御連絡をいただいておりますので御報告いたします。その他代理出席された方々につきましては、名簿にて御確認をお願いいたします。</p> <p>それでは、会議の開催にあたりまして、松本副会長より御挨拶をいただきたく思います。</p>		
松本副会長	<p>皆さまこんにちは。</p> <p>今事務局から御説明がありました通り、伊豆原先生が急遽体調を崩されたということで、昨日電話でお話させてもらいましたが、心配ないよということでしたので、そこは安心しておりますが、急遽代理ということで、私の方で進行を務めさせていただきます。</p> <p>伊豆原先生のように上手に進行できませんので、いろいろ不手際もあるかと思いますが、どうぞ御協力よろしく願いいたします。</p> <p>本日は、本当は伊豆原先生からも御意見をいただきたかったんですが、おでかけタクシーということでみよしの新しい政策について、最終的に皆さまに御意見をいただいて、方向性を決めたいと思っております。</p> <p>最後の最後まで市民のために、そして既存の交通事業のために、両立するような形で運行できれば良いなと思っておりますので、忌憚なく御意見いただければ</p>		

	<p>とっております。</p> <p>本日はどうぞよろしくお願ひいたします。</p>
<p>典 礼</p> <p>近藤都市計画課長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>本日の議事に入るまでの進行役につきましては、私、都市計画課長の近藤が務めさせていただきます。</p> <p>本日の会議につきましては、みよし市附属機関の設置及び運営に関する要綱の規定に基づき、公開とさせていただきます。</p> <p>なお、本日は2人の方が傍聴される点、御報告させていただきます。</p> <p>また、現在の出席委員は17人で、委員の半数以上に御出席いただいておりますので、本会議要綱第5条第2項の規定を満たしておりますので、本会議は成立していることを御報告させていただきます。</p> <p>それでは、早速ですが議事に入りたいと思います。</p> <p>会議の進行は会長が欠席のため、松本副会長にお願いさせていただきます。</p> <p>よろしくお願ひします。</p>
<p>松本副会長</p>	<p>それでは、ここから私の方で進行を務めさせていただきます。どうぞ皆さま御協力よろしくお願ひいたします。</p> <p>お手元の次第に従って進めて参りたいと思います。</p> <p>まず、協議事項(1)バス利用困難者の外出を促進する「おでかけタクシー」実証実験の概要案について、事務局より説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>都市計画課の森と申します。よろしくお願ひいたします。</p> <p>資料1を御確認ください。</p> <p>こちらは、前回の会議からお示ししているおでかけタクシーの実証実験の概要案になります。</p> <p>前回会議において、デマンドという表現が市民にとって分かりにくいのではという御助言をいただきましたので、仮称ですが「おでかけタクシー」という表記に変更しておりますのでよろしくお願ひいたします。</p> <p>それでは、事業概要を順に説明いたします。</p> <p>まず、2目的ですが、市の地域公共交通計画の基本方針である「人とまちをつなぐ 快適交流都市 みよし」の実現のため、現行の計画事業に加え、バスの利用が困難で外出を控えている市民の新たな外出促進策について、既存交通事業者と連携した上で、効果的な施策を検討することとしています。</p> <p>具体的にバスの利用が困難で外出を控えている市民の考え方としては、※で表記していましたが、内容が分かりにくいため、バス停までの移動が困難な人、または障がい等の事由により、バスに乗車することが困難な人等という表記に変更させていただければと思います。後ほど御説明します対象者についても同様に文言修正させていただきます。申し訳ありませんが、よろしくお願ひいたします。</p> <p>次に3の実験内容ですが、外出促進のため、一般タクシーを活用した定額運賃で目的地までの移動を可能とする移動サービスの有効性及び既存交通機関への影響を検証する実証実験を行うこととしています。</p> <p>4実施期間としては、12月から翌年2月までの3か月間で、平日の午前10時から午後5時までとしています。前回会議では正午からとしていましたが、移動ニーズを考慮し、タクシー事業者と調整の上、開始時間を早めています。</p> <p>次に5対象者ですが、みよし市内に居住しており、バスの利用が困難で外出を控えている市民で、具体的には詳細欄に記載していますが、65歳以上の高齢者、障がい者、要介護認定者、要支援認定者、妊産婦のうち、バス停までの移動が困難な人、または障がい等の事由により、バスに乗車することが困難な人で、かつタクシーに1人で乗車できる人としています。</p> <p>前回会議では、65歳以上の高齢者を含めていませんでしたが、8月上旬に開催した交通事業者連絡会において、他の交通機関の事業者さんと調整、また関連部局と調整の上、含める形としています。</p> <p>次に、6対象区域は、市内全域で移動可能な目的地の指定はなしとしています。</p> <p>理由としては、目的が外出促進であり、移動可能地に制限を設ける必要はないと考えたためです。</p>

	<p>資料右側に移りまして、8利用運賃は300円とし、通常かかる運賃との差額は市が負担することとしています。参考として5km移動した場合の市負担額を記載させていただいています。</p> <p>9利用方法は、利用希望日の前日又は当日に対象のタクシー事業者へ直接電話予約し乗車、その際対象者と分かるもの、ここには記載していませんが、運転免許証、運転経歴証明書等もあげられます。それら身分証を提示してもらい、乗車という形をとっています。</p> <p>そして車内でアンケート回答をしてもらい、利用運賃を支払い降車する形になります。</p> <p>なお、後ほどアンケート案をお示ししますが、場合によっては利用される方の状況に合わせ、運転手が聞き取り、回答することも想定しています。</p> <p>10効果検証については、利用特性、導入効果、既存交通機関への影響を検証、また、サービス満足度、必要性等を検証することとしています。</p> <p>11周知方法としては、市ホームページのほか行政区回覧等行う予定です。</p> <p>12タクシー事業者選定方法は、本日概要案を承認いただいた後、みよし市内で運行が可能なタクシー事業者に対し募集をかけ、応募のあった事業者と契約する流れとしています。その際、愛知県タクシー協会さんにも募集時に御協力いただく予定としています。</p> <p>13実施スケジュールは、今御説明した内容をまとめたものとして参考添付させていただきます。</p> <p>次にアンケート案を御確認いただきたいと思います。資料2枚目のA4両面資料を御確認ください。</p> <p>今回は車内で回答いただく形をとるため、項目を絞り、運転手さんが記入できる部分は裏面の事業者記入欄に含めています。</p> <p>前半では、居住地域、利用理由・目的、利用回数等を聞いています。</p> <p>Q7、Q8で今回の実験目的である外出機会や外出範囲についてお聞きし、有効性を調査、また、Q3で以前の移動手段をお聞きし既存交通機関への影響等を把握したいと考えています。</p> <p>裏面では自由記入のほか、事業者記入欄の中で出発地、降車地を把握し、OD調査も兼ねたいと考えています。</p> <p>先ほど御説明したように、本人が回答することが難しい場合は、運転手が聞き取り、回答することも想定しています。</p> <p>以上が実験概要案になります。アンケート内容の項目について一部見直す必要がある場合は、会長・副会長と調整させていただければと思います。</p> <p>なお、本日参考として近隣市町の状況、また前回の会議でも質問のあった福祉有償運送についてまとめた資料を3枚目に御用意していますので、お時間がある際、御確認いただければと思います。</p> <p>それでは、実証実験にあたり協議のほどよろしくお願ひいたします。</p>
松本副会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>前回会議でも皆さまから御意見をいただきました。それから交通事業者さんとの調整の結果、今回最終案という形でまとまってきております。</p> <p>市民の方々の期待も大きい事業だと思いますが、いろいろな点で懸念がまだあるかもしれません。お気づきの点なり、御質問も含めていただければと思います。いかがでしょうか。</p>
新谷委員	<p>利用者としては、すごい提案だなとびっくりしましたが、こういう提案を出された背景、現状ここで対象となってる方たちのおでかけに関しての状況がどうなっているのか、おそらくどこの市町であってもこういう課題はあると思いますが、それを一歩踏み込んだ形で、提案して解消していこうというふうにお考えになった状況を少し確認させていただきたいと思います。</p>
事務局	<p>今まで交通計画等策定するにあたって、既存の交通機関を利用できる方については、今まで通り既存交通を使っただけであれば良いかというふうに考えていましたが、昨年度実施した高齢者関係の計画に伴うアンケート、また市民アンケートなどを実施するにあたって、やはり一定数バスの利用等が困難で外出を控えて</p>

	<p>いる、なかなか外出する機会がつかれないといった声がありましたので、そういった方を少しでも外出促進できる策として今回考えさせていただいております。</p>
新谷委員	<p>そのアンケートの中でどのくらい困難を抱えている方が見えるかということと、今回のアンケート案も確認ができていないので申し訳ないですが、おそらくなぜ困難なのかという理由も聞かれているのか、それとも自由記述で聞かれるかと思っておりますので、そういう困難な理由みたいなのところがあれば、私たちだけではなく、この事業を展開される時に、市民の方にも情報提供していくと良いと思います。</p> <p>そういう状況を解決しようという事業であることを市民にも共有できて、せっかくの事業ですから市民と一緒に育てていけるようにしていく方が良いと思うので、もう少しプラスアルファの情報がいただけると良いと感じました。</p>
松本副会長	<p>おっしゃられる通りだと思います。</p> <p>説明責任、導入する目的、対象者、数値で根拠をもって説明して、さらに言えばその効果も数値をもって説明するべきだという御意見でした。</p> <p>それによって市民の共感も得られて、そしてより一層拡大なのか、或いは改善なのか、何か繋がっていくのではないかと御提案だと思います。</p>
事務局	<p>貴重な御意見をありがとうございます。</p> <p>実施するにあたって、現行の目的に加え、もう少しどういった背景、数値としての根拠があるかについても、記載をさせていただきたいというふうに考えております。</p>
松本副会長	<p>おそらく予算を確保する際に、大体の想定人数、利用距離を見積もっているはずだと思います。そうすると、対象者65歳以上で、今回対象になるのが何%ぐらいでというようなことをやられていると思います。</p> <p>当たる当たらないはともあれ、一緒に示してもらった方が良いのではないかと御提案だったと思います。</p> <p>今回はもうこれで良いのかもかもしれませんが、施策を実施するにはエビデンスをもとに提案いただいた方が良いのではないかと考えていますので、今後提供、或いは何かの機会に報告いただければ良いかと思っております。</p> <p>もし可能であれば、次回の会議の場でもよろしいので、そういった裏付け資料を出していただければと思います。</p> <p>ちなみに、概算では現時点でお答えいただけますか。例えば65歳以上の何%ぐらいが対象になりそうだとか、或いは現に外出に困っている方、すなわちバス停まで歩けない方、或いは1人でバスに乗れない方がみよし市でどのくらいいるのか、分かりますか。</p> <p>一般論で言いますと、皆さま御存知のように、高齢の方々は年々増えてきています。そして足腰の弱い方々も増えてきています。そうした中で、バス停まで歩けない、いわゆるラストマイル、或いはファーストマイルの問題があるということで、バス停までの交通手段を何とかしてくれといった声が、たくさん寄せられているというのはきっとあると思います。</p> <p>多くはそこを政策的な判断として、そういう方々の声にこたえようということで、例えば東郷町、日進市等でデマンドの実験が始まっているかと思っておりますが、数値的な裏付けがしっかりと捉えられているかということ、両自治体さんに対しても必ずしも数字は捉えていなかったのかなと思います。</p> <p>それから、先んじて長久手市でデマンドタクシーの実証実験が始まりましたが、やはりそういう声に応じて導入が始まりましたが、実際に導入してみたら利用がほぼほぼ見込まれず、結局実証実験だけで終わっています。</p> <p>もちろんそれには理由がありまして、例えば予約が面倒くさいとか目的地が限られている、或いは料金が高いなど理由があるかと思っております。</p> <p>みよし市でも必ずしもそうなるとは限らないですが、いずれにしても、案外届く声ほど利用は見込めない可能性もあるということだと思っています。</p> <p>そういう意味で、実際の数値を捉えておくべきという新谷さんのアドバイスは、まさにその通りだなと思います。</p>

事務局	<p>参考になりますが、要介護認定者の数値で言いますと、886人いますが、そのうち高齢者のタクシー料金助成を受けるために申請されている方は268人となっております、約3割となっております。</p> <p>今回のお出かけタクシーと少し利用実態は変わってくると思いますが、見込みとしては対象となる方の3割という見込みを立てています。</p>
松本副会長	<p>要介護認定者の分析ということでした。要支援となると人数もさらに増え、バスは乗れるがバス停まで歩くのが大変だという方が増えてきそうですね。</p> <p>ただいま情報をいただきましたので、見込みとしてはこのような考えであるということで御理解いただければと思います。</p> <p>その他いかがでしょうか。</p>
大野委員	<p>名鉄バスの大野でございます。</p> <p>前回の御提案から、実は行政様と弊社の間でもいろいろ調整をさせていただきました。</p> <p>バスをなかなか御利用いただけるような状況でない方で、実際は福祉ともかなりリンクする部分であるかと思いますが、みよし市の中で市民の皆さま方が何を求められているかということに対して、弊社としても一旦実験をやっていただき、弊社のバスの利用に対してどれぐらい利用の影響が出るかを知りたいという部分もございますので、事務局様とも連携はしておりますが、できれば本当に細かいデータをいただき、弊社としても何か改善することができるのであれば、今後活かしていきたいと思っておりますので、この実験については、事務局様と十分協議を重ねて弊社としても同意いたしておりますので、その点、御報告させていただきます。</p>
松本副会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>まさに実証実験ということで、名鉄バスといった既存のバス路線への影響というのを捉えながら、それぞれで何かこの先やれることを見出していきたいということでございますので、すごく素晴らしいことだと思っております。</p> <p>そのためには、データをきっちり取らないといけませんので、ぜひデータをいかにとるのか、これは協力いただけるタクシー事業者さんの御協力が欠かせませんが、きっちりデータを取れるようお願いしたいと思います。</p> <p>ちなみにアンケート以外にいつ、どこからどこまで移動したみたいな記録はとれる形になっていきますか。</p>
事務局	<p>アンケートの裏面に事業者側で記入いただく欄がありますが、そこに日付、時間帯、そしてどこからどこまで移動したか、あと距離についても分析し、OD調査としたいと考えております。</p>
松本副会長	<p>運転手さんにも少しお手間をおかけしますが、ぜひ御協力のほどよろしく願いしたいと思います。</p>
宮川委員	<p>愛知支局の宮川です。</p> <p>確認だけですが、実証実験を今回やってみて、上手くいく、望まれるサービスであれば来年度以降いつになるか分かりませんが、継続或いは形を変えてやっていくことになるかと思えます。</p> <p>実験結果については、来年度の交通会議で検討するのか、別の主体で検討されるのか教えていただけたらと思います。</p>
事務局	<p>アンケート結果につきましては、来年度の前にまず本年度の第3回の会議が今の予定では1月か2月に開催予定のため、途中結果も交通会議でお示しさせていただきますと考えていますし、来年度についても、この会議で検討させていただきたいと考えております。</p>
増岡委員	<p>高齢者の事業として大変期待していますが、私がもう一つ心配しているのは、例えば私が65歳以上でバス停まで歩くことできないという対象者であった場合、これは電話予約となっておりますよね。</p> <p>対象者であることをどのように確認するのか教えていただきたいです。そういう条件に合った対象者かどうかはどのように確認されますか。</p>

事務局	<p>対象者であるかどうかという点については、お電話していただく前にまずホームページ、広報等でお示ししていますので御確認いただければと思っています。</p> <p>また、バス停まで移動するのが困難な方については、自己申告にはなってきまずので、移動できなくてバスにも乗れなくてなかなか外出できていない方がもしあれば、その方は自分が対象だということで、予約していただければと思います。</p>
増岡委員	<p>仮に予約ができ、当日車両がお迎えに来ました。そこであなたは対象者ではないと運転手さんが判断された場合はどうなりますか。</p>
事務局	<p>今回は事前登録制でなく、電話で予約をした時点で確定しますので、お電話いただいた際にどの区分に該当するかの確認はさせていただきます。予約成立後は運転手さんが判断できる部分ではないと思いますので、迎車後に断られるというケースはないと考えております。</p>
松本副会長	<p>ご自分がバス停まで歩くのが困難と思われる方は対象者になるということで御認識いただければと思います。</p> <p>そのため、運転手さんに迎車後断られることはありません。</p> <p>ただし、要介護、要支援、或いは障がい者等という区分で予約をされますので、乗車時に運転手さんに証明できるものを提示してもらうということですね。</p>
事務局	<p>おっしゃる通りです。</p>
伊藤委員	<p>前回所用で欠席したため、今の内容ともものすごく関係してる点を伺いたかったのですが、参考の他市町村の事例を見ると、移動が困難である人という条件はありません。</p> <p>そうした中で、みよし市は制限を設けている理由、予算的な話もあるかとは思っていますが、逆に今のお話だと、利用者は性善説に立っていますが、それが抑制につながってしまう可能性もあるのではないかと思います。</p> <p>私は対象ではないと思い、申込みない人がいるのではないかと、先ほど先生がおっしゃったように、実はそこで利用が促進されない作用も逆にでてくる可能性がある中で制限を設ける文言を入れることについてどのように考えているか教えていただきたいです。</p>
事務局	<p>他の市町で東郷町、日進市を事例として記載させていただいていますが、2市町の状況とみよし市の状況が違う点として、みよし市にはバス路線のほかに乗継タクシーというバス停から少し家が遠い方は、そこからタクシーに乗って100円のみで近くの乗降場で降りられるシステムというものがございます。</p> <p>それを考えると、みよし市においては、さんさんバス・乗継タクシーで人口カバー率が95%以上ありますので、健康な方にとっては現在のバスの運用で問題ないかと思っております。</p> <p>一方、東郷町、日進市においては、バス路線のほかにそういったシステムがないので、デマンドタクシーの対象者を増やすことで、健常な方の外出促進策の支援も兼ねていると考えていますので、その点で他市町の対象とは棲み分けというものをさせていただいて、みよし市の場合はバスの利用が困難で外出を控える市民のみを対象に絞らせていただいております。</p>
松本副会長	<p>確かに乗継タクシーがあるので、そこでの役割分担を明確にしたいという考えでこの一言が入っているということですね。</p> <p>これがみよしの特徴というふうに御理解いただくとよろしいかと思います。</p> <p>その他いかがでしょうか。</p>
吉井委員	<p>東海学園大学の吉井です。</p> <p>利用方法について1点質問がありまして、利用希望日の前日または当日に直接電話予約と記載がありますが、外出は結構唐突にしたい機会が多いと思いますが、大体予約してどれくらいで迎えが来るのか、おそらくこの事業に割くことができるタクシーにも限りがあると思いますので、利用者の増加をねらうのであれば、一人一人の待ちの時間が長くなる可能性があるのではと考えますが、現時点ではどのようにお考えなのかお聞かせいただきたいです。</p>
松本副会長	<p>おっしゃる通りで重要なポイントだと思います。いかがでしょうか。</p>

事務局	<p>他の自治体でもやはり予約が取れない点については、アンケートでも課題の上位を占めています。</p> <p>今回、本市が実施する事業においても借上げのタクシーで事業専用のタクシーは設けておらず、あくまで一般タクシーを活用するものになるため、吉井委員がおっしゃるように、どうしても予約が取れない事象は出てきてしまうかと思いますが、それを確かめる実証実験でもあると思っていますので、今回利用需要が高いのに対して、タクシーが足りないということであれば、別の施策、アプローチ方法も考えていけるかと思っていますので、今回はそのように考えております。</p>
松本副会長	<p>この心配は実際ありまして、隣接の自治体、東郷町、日進市では予約が取れない、或いは予約をしてもなかなか来てくれないという事象が発生しております。それは現在、タクシードライバーさんがとにかく不足しております、台数も不足している状況です。</p> <p>従って、そのような状況の中で何とかこの実証実験に参加可能なのがこの午前10時から午後5時までというようなことで定められたと思っていますので、その中で果たしてどれぐらい予約通りに動いてもらえるかというのを、アンケートでも捉えていくことになるかと思っています。</p> <p>ゆくゆくは夢物語ですが、これが自動運転になって、ロボットタクシーが街中に走っていて、呼んだらすぐ来てくれるようなそんな時代がすぐではないかもしれませんが、来てくれれば良いだろうなという気はしています。</p> <p>ちなみにサンフランシスコでは、自動運転タクシー、無人のタクシーがもう走っていますが、問題も起きているということもあります。</p> <p>消防車の邪魔をしてしまうとか、救急車の邪魔をしてしまうとか、故障して途中で止まってしまうということも起きているそうです。</p> <p>その他いかがでしょうか。</p>
宮川委員	<p>事業者さんの予約受付の手間が生じてしまいますが、このアンケート内容以外に運行に対していつ予約があったか、何か把握することできる仕組みは作れるのでしょうか。</p>
山口委員	<p>運行に関し予約された日時を把握することはできると思います。</p> <p>事業者側で集計し、データ提出という形でやらせていただければと思います。</p>
松本副会長	<p>もしとっていただけると非常にありがたいので、あまり負担になってもいけないので負担にならない範囲で記録に励んでいただければと思います。ぜひ御協力ください。</p> <p>私からも御質問させていただきますが、移動可能な目的地が指定なしとなっています。これは望ましいことだと思っています。</p> <p>私がよく言うのは、have to do からwant to do ということで、しなければならぬ移動のための移動だけではなくて、行きたいところに公共交通でいけるような交通システムができれば良いなと思っていますので望ましいと思っていますが、一方で納税者からすると、どこにでも運んで良いのかというような疑問がわきかねないと思います。</p> <p>例えば、これが良いか悪いかどうかともわれ、これは個人的な見解で皆さまがどう判断するかは分かりませんが、例えばパチンコに行く、それを税金で運べたことに関して、みんながみんな賛成されるかという少し違うような気がします。</p> <p>そうすると、そういった方々がパチンコでも何でも良いですが、税金で運ぶべきじゃないと思われるような場所に運ぶことに対しての是を説明していかないといけないと思います。</p> <p>そこがおそらく行政としての果たすべき役割というか説明責任というふうに思いますので、少しそこを考えていただけたらと思います。</p> <p>私個人的には、基本的には是だと思っています。</p> <p>ただし、それを納税者に向けても是なんだということを、理論武装できないといけないと思いますので、そこは考えておいてもらう必要があると思います。</p> <p>そういう意味では、効果検証のところ、外出頻度、外出回数、外出範囲と書かれていますが、頻度と回数は、ほぼほぼ似てると思いますので、これは外出目</p>

	<p>的だと思います。</p> <p>いわゆる今回のおでかけタクシーによって、買い物、通院しか今まで出かけられなかったのが、趣味や娯楽でも出かけられるようになった。これはQOLの向上に繋がっていくと思います。</p> <p>特に超高齢社会の中において、生きがいだとか社会への参加、そういったものに繋がっていくんだという説明ができれば、それはそれで皆さまが健康に長生きできる社会が築けたんだという説明にも繋がると思いますので、そういったことも含めて検討いただくとよろしいかと思っています。</p>
新谷委員	<p>アンケートの最後の質問で、おでかけタクシーを利用して課題に感じたことで、設問の中に、⑧市外に行けないという項目がありますが、そもそも市内限定のサービスですね。</p> <p>市内のおでかけタクシーという設定があって、将来的にこの市外に行けないという回答が多かったら市外も可能にするのであれば別ですが、そういう検討はされないのであれば、この設問を入れることは少し違うのではないかというふうに感じました。</p>
松本副会長	<p>これを聞くということは、改善する可能性もあるというように読み取れると思います。市として、市外まで運ぶような運用に拡大する予定、可能性はあるということでしょうか。ないのであれば、この市外に行けないというのは課題に挙げるべきではないということだと思います。逆に改善につなげられそうにないようなことは、ここで課題として聞かないほうが良いかもしれません。</p>
事務局	<p>内容については、改めて検討させていただきたいと思います。</p>
松本副会長	<p>アンケートについて私の方からもお話をさせていただきますと、これは毎回答えるアンケートになりますよね。</p> <p>そうすると、毎回おでかけタクシーの利用によって外出機会は増えましたか、お出かけタクシーによって移動範囲は広がりましたかと聞かれると大変だと思います。</p> <p>毎回聞くのではなく、ある程度使ってみた結果として聞くべき内容ではないでしょうか。可能であれば、Q6までは毎回の利用に対してのアンケート評価項目ですので、利用ごとにお聞きして、Q7からQ10のような効果、必要性、そして課題に関しては、後日、ある程度利用が進んだ段階で、別途利用者アンケートとしてとられた方が良いかと思っています。</p> <p>二段階のアンケートにした方が効果測定もしやすいと思いますが、いかがでしょうか。</p>
事務局	<p>最初はそういった考えもありましたが、アンケートを回答いただくにあたってQ7ですと、④まだわからないといった項目もございますので、最初の利用においては、回答時に④を選んでいただいて、利用回数が増えてきた際には、他の項目を選んでいただく、そうするとクロス集計した際にどのように変化したか判断できるかと考えたため、今回はすべて毎回答えていただくような形をとらせていただいております。</p>
松本副会長	<p>会員制ではないので、後からこういう方々に回答いただきたくても回答がもらえないことが考えられるということですね。毎回履歴を取らないといけないわけですね。そうすると、確かにやむを得ないかもしれないですね。</p> <p>毎回の利用でいうと、帰りの手段を聞いたかったのですが、行きは例えば別の方法で行ったけど、帰りは荷物があつたから歩けないのでおでかけタクシーを利用したとか、その逆もあります、帰りの交通手段を実は捉えたいなと思ひまして、或いは行きかもしれませんが、そうすると質問が多くなるのでQ7以降は削ってしまえばと思ひましたが、結局利用者を後から捉えることはできないから難しいですね。そういう課題もあるということで、この場で結論は出ませんが、検討を進めてもらえれば良いかと思っています。</p>
大野委員	<p>名鉄バスの大野でございます。</p> <p>今お聞きしていると、各委員さんからいろいろな御質問だとか御意見が出ていますが、弊社としても、みよし様とお話していたのがまさにこのあたりで何かはっ</p>

	<p>きりしない、何かここに穴があるような形で、みよし様とずっと話をしていたことを逆に市民の委員の皆さまから発言があり、正直私も疑問に思っていたことが、まさに今出てきてしまったのかというのが正直あります。</p> <p>質問の中にありましたが、市外に行けないことについて、これについては検討しますという回答でしたが、これがもし市外に行けるとなると、多分タクシー事業者様もそうですし、弊社も大反対いたします。</p> <p>お隣の東郷町では明確に行政様の方で、市外に行くことは一切しないと、これは最初から形としてありました。その代わり喫茶店に行くだとか、そういうことに関しては寛容なお考えを東郷町様はお持ちになっていました。</p> <p>ただ、市外に出ることに関しては、検討の余地があるような発言がございましたので、その部分については、弊社としては懸念に感じております。</p> <p>それからデマンドタクシー事業などの事例についてということですが、東郷町様、日進市様の事例について記載がありますが、若干目的がそれぞれ違います。</p> <p>日進市様については利用料金のところに、半径2kmとか、半径3kmエリアっていうのがありまして、これはデマンドなり、弊社の直営のバスに乗り継げられるということで半径が決まっています。</p> <p>そのエリアがありますので、もともとデマンド交通の方がそちらの方になかなか行けないというところで目的は決まっています。</p> <p>東郷町様の場合は、明確に町外に出ないということと、それから交通の縦のライン、南北のラインが非常に東郷町様は弱いため、この辺りのところで交通事業者の方と調整はしておりますけど、みよし様については、実験を重ねた上で、いろいろ問題が出てくるかなと思います。市外に出るという点については、同意は一切できませんので弊社の置かれている立場、タクシー事業者様のお立場については、少し考えていただきたいと思います。</p>
事務局	<p>都市建設部長の久野です。</p> <p>Q10の中で市外に行けないという項目があるわけですが、市としましても市外への運行というのには考えておりません。</p> <p>しかし、アンケートの中で市外に行けないという項目を選択する人の割合を把握し、現状市外に出るには名鉄バス、名鉄電車を使うしか方法はありませんが、データを取ることによって分析にも使えるのではと考え、項目として入れさせていただいた形です。</p> <p>あくまで、アンケート結果を基に市外に行けないと選択した人が多いから市外も移動可能にするといった方向性の趣旨でこの項目を入れたわけではないということだけ御了解いただきたいと思います。</p>
松本副会長	<p>利用者からすると、選択した人が多ければ、例えば集計結果を見て、おでかけタクシーで市外に運んでほしいという要望が出てくると思います。</p> <p>それに対して、あくまでおでかけタクシーは市内の移動手段ということで、代わりに別の手段がありますと言ってもらわないといけません。それがありませんか。</p> <p>ニーズだけ把握してそれっきりというわけにはいかないの、当然その声がたくさんあがって全く対応しないということにはいかないと思いますので、そのあとのストーリーも含めて検討いただきたいと思います。</p> <p>今、おでかけタクシーについては、市外には出さないということを発言いただきましたのでわかりました。これは議事録に残ると思います。</p> <p>それはそれで結構だと思いますが、ただその次のステップの何らかの施策が実施できないのであれば、やはりここに入れるべきではないかなという気もしないでもありません。</p> <p>あくまでも市内の移動手段として、課題は何ですかという範囲で聞いたほうが妥当なのかもしれないという御提案かと思えます。</p> <p>その他いかがでしょうか。</p> <p>【意見なし】</p>

	<p>たくさんの御意見をいただきました。ただ大きく何かを修正するというものではなかったと思います。</p> <p>アンケートについては、また検討いただきながらだと思いますが、それから今後については市外には決して出ないということも約束いただいたとっておりますので、基本的にはこのような形で進めていただき、あと利用実態のデータをどうとるかといったところも御意見がありましたので、そこを今一度確認していただき、そしてアンケートについては少し検討して先ほど冒頭お伝えしたように、会長が残念ながら出席できていませんが、伊豆原会長、私、そして事務局、或いは場合によっては交通事業者さんの意見も聞きながら、修正すべき点は修正するという御承認いただけますでしょうか。</p> <p>【委員承認】</p> <p>ありがとうございました。では、御異議ないようですので、今言ったような形でお進めいただければと思います。</p> <p>それでは、次に移りたいと思います。みよし市地域公共交通計画の一部変更案について、事務局より説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>資料2を御確認ください。</p> <p>今回の公共交通計画の一部変更にあたっては、公共交通の活性化再生法の改正に基づいて行うものですので、まず支局の宮川委員に全体の概要についてお話いただければと思います。</p>
宮川委員	<p>愛知運輸支局の宮川です。</p> <p>お配りいただいておりますみよし市の地域公共交通計画、それからその後ろに地域公共交通計画と乗合バス等の補助制度の連動化に関する解説パンフレットも添付いただいております、詳しくはこちらのパンフレットに書いてあることとなりますが、少しかいつまんで説明をさせていただきます。</p> <p>みよし市については、公共交通計画を令和2年に作成されていますが、計画の中でみよし市内の公共交通をこういうふうにつくっていく、支えていくという内容をうたっていただいている形になります。</p> <p>一方で、国の方で名鉄バスさんが運行されている幹線バスと言われるもの、それからさんさんバスなど幹線補助、フィーダー補助という形で赤字補填分の補助について、国や県と協力しながら行っていました、こちらの補助について、地域交通法の関係でその補助を行うに当たって、令和2年に補助を行う場合は、公共交通計画に補助の必要性、補助を使ってこの路線を支えていくということをしかり書いてくださいというように法律を改正させていただきました。</p> <p>今回のみよし市地域公共交通計画の変更にあたっては、御説明した内容に対応するため、みよし市内では国の補助を使っている路線がありまして、この補助制度を使って支えていきたいという内容を追記いただいています。</p> <p>支局からのお願いも差し上げているところではありますが、支えるからには効果、目的、役割についてしっかりと継続して把握していくことが必要ですので、そういった補助対象となる路線の役割だとか、効果が上がっていることを確認するためにどういった指標を持って確認していくのかを今回の計画の中で説明していただくということになっております。</p> <p>こちらからの手続き上の問題で大変申し訳ありませんが、こういった形で背景をしかり説明していただいてそれを補助につなげていきたいと思っておりますのでよろしくをお願いいたします。</p>
事務局	<p>ただいま、宮川委員から御説明をいただきましたが、令和2年3月に策定したみよし市地域公共交通計画について、計画期間を令和2年度から令和6年度までの5か年としています、法律の改正に伴い、現在の計画では補助金の交付要件を満たしていないため、別紙案のとおり要件を満たした計画に変更したいと考えています。</p> <p>主な変更点としては、計画変更のねらいを追記、その他該当路線名や路線の必要性を追記しており、支局にも相談の上、現行の計画書に補助要件を満たすため</p>

	<p>に必要な事項のみ追記・変更を行い、補助要件とは直接関係のない部分はそのままとしています。</p> <p>変更時期は本日承認をいただいた後、庁内、支局とも調整の上、令和6年3月に変更を予定しています。</p> <p>なお、本計画全体の改訂については、計画期間が終了する来年度中に改訂業務を行い、令和7年度から11年度までの次期計画を策定する予定としています。</p> <p>本日は、A3の新旧対照表に記載の改正案について、お気づきの点等がございましたら、御指摘いただけますと幸いです。また、参考資料として国交省が作成した解説パンフレットを御用意させていただきましたので併せて御確認ください。</p> <p>以上が説明となります。</p>
<p>松本副会長</p>	<p>ありがとうございました。せっかく新旧対照表も作っていただいていますので、追記等された内容について簡単に説明いただけますか。</p>
<p>事務局</p>	<p>新旧対照表の見方としては、左側が変更案となっておりまして、資料左上に変更内容を朱書きでまとめていますので御確認をお願いします。</p> <p>1 ページ目は表紙になりますが、策定が令和2年3月、そして変更日が令和6年3月となるため、追記をしています。</p> <p>2 ページ目は目次になりますが、先ほど御説明したとおり計画変更のねらいについて記載する必要があるため、目次にも追記をしています。</p> <p>3 ページ目では、計画変更のねらいということで、もともと令和6年度までの5か年としていた計画について、活性化再生法の改正に伴い、公共交通の維持のため補助金が必要である旨を追記しています。</p> <p>4 ページ目では、ただいま説明をさせていただいたとおり、当初は令和6年度中に計画全体を改訂する予定としておりましたが、別途令和5年度中に変更を行うため、変更という言葉を追記しています。</p> <p>5 ページ目に移りまして、資料右側の現行計画では、交通ネットワークのイメージについて、矢印のみで記載していましたが、新たに系統名、路線名というものを追記した形になります。</p> <p>6 ページ目に移りまして、こちらは現行計画に記載がない内容になりますが、計画を変更する令和6年3月時点の公共交通ネットワークということで、本日机上にお配りしているバスマップを活用したものになりますが、右下の凡例にいいじゃんライン、さつきライン、くろまつライン、そして名鉄バスという記載がありますが、そこに※を入れまして、各路線が補助を受けている幹線系統、フィーダー系統の国庫補助金の対象であるという旨を追記しています。</p> <p>7 ページ目に移りまして、ここでも該当している路線名について、さんさんバスの拠点連系線、三好黒笹線、福田明知線といった形で詳細を記載しています。</p> <p>また、その他サービス確保の考えとして、地域公共交通確保の事業を活用した運行を行う旨の内容を追記しています。</p> <p>8 ページ目に移りまして、ここではさんさんバス路線の必要性を記載しております。市中心部から市北部の鉄道駅、市域外の病院への移動を可能としている拠点連系線、みよし黒笹線についての必要性、またフィーダー系統である南部地域を走り市の中心部で拠点連携線、三好黒笹線と連結しているフィーダー系統についても、鉄道や幹線系統がないエリアにおいて、通院、買い物、飲食などの移動を確保しており、とても重要な路線となっている旨を追記しています。</p> <p>9 ページ目に移りまして、ここでは具体的な事業概要として、南北公共交通軸、地域公共交通軸としての位置付けで、さんさんバスの路線名を明記、下の表においては、名鉄豊田線、高速バス、名鉄バス、三好丘ループバスなどの起終点、そして事業区分なども記載させていただいており、一番下の※にあります。それらの路線については、補助金の対象であることをここでも述べています。</p> <p>10 ページ目に移りまして、ここでは事業を実施するスケジュールと実施主体の整理ということで記載をしていますが、上から三つ目のところでさんさんバスの路線について、詳細の路線名を追記しています。</p> <p>また、24番の低公害車やノンステップ車両の導入というところで、新しく※を付けており、さんさんバスを昨年度も2台更新していますが、その際も確保維持</p>

	<p>事業の補助金を使って購入していますので、その旨を記載しております。</p> <p>11ページ目が最後のページになりますが、表紙と同様に令和2年3月に策定、発行していたものを令和6年3月に変更する旨を追記しています。</p> <p>また、市の機構改革によって、企画政策課から都市計画課に交通事業の所管が変わっていますので、編集も都市計画課で実施しているため、変更を行っています。説明は以上になります。</p>
松本副会長	<p>ただいまの御説明に対し、御質問、御意見等ございましたらお願いしたいと思います。</p> <p>国の補助要件に合わせるための変更ということで、本質的な内容の変更はございません。逆に変更をしないと補助金がもらえなくなるということは、皆さまにお支払いいただいている税金の使い道が減ってしまうということになりますので、やらざるを得ないことかなと思っております。</p> <p>ちなみに考えたくないですが、補助落ちになるとそのたびに計画変更が必要になるのですか。</p>
宮川委員	<p>補助落ち、或いは補助対象路線が増えたりした場合、まず后者の補助対象路線が増える見込みがあるときは、計画変更いただくことになります。</p> <p>補助落ちについての取り扱いについてはまだはっきりしていないところがありますので、その辺りはまた確定したらお知らせしたいと思います。我々としてもできるだけそういったところでお手間はかけたくないと思っておりますので、できるだけ手間がかからない方向で対応できるようにしたいと少なくとも現場では考えておりますのでよろしくお願いします。</p>
松本副会長	<p>補助をもらうための計画ではなく、計画があって結果としてそれに補助がついてくるといって形にしてえると良いですね。ぜひそういう形でご検討いただければと思います。</p> <p>ちなみに変更に関してパブリックコメントなどにもかけていくのか、この会議で承認のみなのかスケジュールをお話いただけますか。</p>
事務局	<p>今のところ補助要件を満たすための軽微な変更で本質的な内容に変更はないため、パブリックコメントは予定しておりません。</p> <p>スケジュールとしては、本日、会議で承認をいただきまして、次に支局を通じて本省に最終確認をいただきます。それがおそらく、10月、11月頃だと考えております。</p> <p>その後、年内もしくは年明けぐらいに庁内に諮りまして、3月に正式な変更ということで、現行計画を策定した3月に合わせ変更というように考えています。</p>
松本副会長	<p>そうすると公共交通会議としては今日が最終承認ということですね。</p>
事務局	<p>第3回会議時に最終決定した計画を報告という形でお示しする予定はしていましたが、協議いただくのは今回が最後と考えています。</p>
松本副会長	<p>国からの指導や確認、庁内の確認をした際に修正があった場合は、公共交通会議で承認したものは違う計画が出来上がっていくことになりますよね。</p> <p>それで問題はありますか。</p>
事務局	<p>余りにも記載内容に修正が入り、変更が必要となる場合は、改めてこの会議で協議いただくことを考えていますが、今回お示しする前に事前に支局とも調整させていただいていますし、本日の会議でも内容の変更について御意見はいただきませんでしたので、ここから大きく変わることはないと考えていました。</p> <p>今後もし大きな変更が出てくるようであれば、再度協議させていただきたいと考えています。</p>
宮川委員	<p>こちらの案につきましては、これまでも支局、支局を介して中部運輸局にも確認しています。</p> <p>その中で大きな変更が必要ない状態にまとまっていますので、今回の会議でお諮りいただいているというふうに思っております。基本的に先ほどの補助の連動化に関するパンフレットの記載事項について、具備していると思います。</p> <p>繰り返しになりますが、大きな変更はないと思っておりますが、もし万が一、どうしても変更になった場合については、再度会議でお諮りいただくことになる</p>

	<p>と思いますが、その他軽微な誤字や書き方の一部変更などがあった場合は、支局とみよし市で調整させていただいて、最終的な報告をしていただくような形でよろしいのではないかと考えております。</p>
<p>松本副会長</p>	<p>私が気になったプロセスとして、公共交通会議で承認されたものとは変更された計画、内容にもよりますが、変更がされるようなプロセスがあること自体が問題だなと思ったわけです。</p> <p>公共交通計画は、地域公共交通会議での承認事項だったと思いますので、基本は今回の内容のままとし、多少の数値の変更や言い回しの変更とか内容に関わらない内容については、会長、そして事務局、或いは運輸局等々で一任して、皆さまにはそれを前提で承認いただくということかなと考えております。</p> <p>宮川委員のお話からもそういうことだと思っておりますが、もし庁内で何か追記しようとか路線が増える、或いはこの路線がなくなるといった変更があった場合にはもう一度会議に諮ってください。</p> <p>今回については、一応皆さまからは特に御異論ないということでございます。</p> <p>とはいえ、この後に軽微な変更、表現の修正等々があった場合は、これは基本的には事務局一任とさせていただきながら、大きな変更があった場合には皆さまにもう一度お諮りさせていただくという前提で、今回の地域公共交通計画の一部変更案に関しましては、御承認いただくということによろしいでしょうか。</p> <p>【委員承認】</p> <p>ありがとうございました。では、御承認いただいたということになりますのでこれで手続きを進めください。</p> <p>それでは、報告事項に移りたいと思います。公共交通利用促進事業について事務局より説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>資料3を御確認ください。</p> <p>こちらは、今後実施予定の利用促進事業についてお示ししています。まず、1つ目の尾三地区と交通事業者が連携した広域イベントの実施についてですが、まず尾三地区は、みよし市の他、豊明市、日進市、長久手市、東郷町の5市町で構成されています。</p> <p>平成26年に「尾三地区自治体間連携協力に関する協定」を締結し、幅広い分野で相互連携し、地域課題の対応や地域交流の活性化を図るなど、自治体間を越えた協働による魅力あるまちづくりを進めていくため連携事業を実施しています。</p> <p>交通分野においても「尾三地区広域交通会議」を組織し、構成市町が抱える問題について協議を行っています。</p> <p>そうした中、コロナの影響等により、公共交通全体の利用者数が減少している中で、現在、尾三地区と交通事業者が連携した広域的な公共交通のPR・利用促進イベントを実施できないかと考えております。</p> <p>昨年度、イオン三好において、名鉄バスさん、東郷町と連携しイベントを実施しましたが、もう少し規模を拡大して実施ができればと考えています。</p> <p>現時点で日程等確定はしていませんが、実施した際は今後の会議で報告させていただきたいと思っておりますのでよろしくお願いたします。</p> <p>2つ目は乗り方教室の実施、3つ目はのりものカードの配布についての事前報告となります。</p> <p>乗り方教室については、昨年度も実施していますが、本年度においても中部小学校から御依頼をいただきますので、運行事業者に御協力いただきながら10月の実施を予定しています。</p> <p>のりものカードについては、後ほど名古屋鉄道さんから説明をいただけるかと思っておりますので、説明は割愛させていただきます。</p> <p>今後も効果的なイベント等を実施し、利用促進、公共交通のPRを行っていきたいと考えていますので、こんなのやってみてはどうかなどいつでも構いませんので御提案いただけると助かります。以上が報告になります。</p>

松本副会長	<p>ただいまの件に関し、御質問、御意見等ございましたらお願いしたいと思いましたが、昨年イオンで開催されたイベントに関して、何か周知が不足しているなど御意見をいただいた記憶がありますが、今年は問題ないでしょうか。</p>
事務局	<p>昨年度の反省点としては、計画から実施までの期間が短く、なかなか周知、準備ができなかったことがあります。本年度は事前周知の期間を長く設け、準備にも時間をとった上で実施できるよう日程調整を行っています。</p>
松本副会長	<p>せっかくやるので、皆さまにも知っていただいて、多くの方に御参加いただくと良いかと思っておりますので周知をお願いしたいと思います。</p> <p>その他よろしいですか。</p> <p>【意見なし】</p> <p>ありがとうございました。では、またいろいろと取り組んでいただければと思います。</p> <p>それでは、その他情報提供ということで、名古屋鉄道さんからお願いします。</p>
森崎様(代理)	<p>名古屋鉄道の森崎です。</p> <p>のりものカードについてご説明したいと思います。</p> <p>当社は自治体様、名鉄グループ及びグループ外の他交通事業者様と連携し、のりものカードという取組を7月22日より始めました。</p> <p>内容としては、民間及び行政も含め交通サービスを提供している事業者様が統一デザインのカードを作成し、配布、これによりカードをもらった方がいろいろな交通サービスに興味を持ってもらうというものでございます。</p> <p>今回は20団体、23種類からスタートいたします。</p> <p>特徴としては、鉄道は鉄道、バスはバスといったカードはありましたが、東海地方というエリアでくくりまして、鉄道、バス、船といった様々な乗り物を紹介していることでございます。</p> <p>当社の思いとしては、公共交通に親しみ、触れる機会を創出することで、公共交通を利用していただくきっかけを与えるということでございます。</p> <p>公共交通の分担率は、関東では36%、関西で24%、中部圏は低く12%となっており、ここを少しでも関西、関東のレベルまで引き上げたいということで、1者ではできる話ではなく、いろいろな事業者様と連携をいたしまして機運を高めていくこととしていきたいと思っております。</p> <p>配布方法は各事業者様によって違うため、名古屋鉄道のホームページを御覧いただきたいと思いますが、みよし市様のさんさんバスや名鉄バス様にも、第1弾として作成していただいております。</p> <p>お手元にお配りしております、さんさんバスについてですが、下の方にサイコロとジャンケンのパワーが示してありますが、ホームページを見ていただくと、すぐろくのゲームなども印刷できるようになっていますので、ぜひ、こどもも巻き込んで、バスに乗ってみたいとか、電車に乗ってみたいとか、そういう方を巻き込んでいただいて、地域の交通事業に参画していただきたいということで、ぜひ各方面の方に吹聴していただきたいと思っております。</p>
松本副会長	<p>新しい取組です。</p> <p>こういったものは今までになく、バスだけではなく鉄道、或いは船も含めた形でのカードとなっておりますので、ちまたにはダムカードとかマンホールカードとか、いろいろなカードがございます。</p> <p>その仲間入りをして、バスカードを集めるような方々がたくさん出てきて、そして公共交通の利用に繋がっていけば良いというのが名鉄さんの思いだということでございますので、ぜひ皆さまにもいろいろ宣伝いただいて、特にお子さんにも宣伝いただいて、たくさんの人たちがこれを獲得してもらうような動きをしましょうと良いですね。ありがとうございました。</p> <p>その他何か全体でございませうでしょうか。</p> <p>【意見なし】</p>

	<p>少し時間もありますので、せっかくですので、市民代表の方々には、みよし市の公共交通について思っているところ、困っていることや要望などありましたら一言ずつお願いできますでしょうか。</p>
鈴木委員	<p>黒笹行政区の区長をやっており、地元から要望がありまして、今のさんさんバス路線ですと黒笹駅から三好ヶ丘駅を回って市役所近くまで行くのに1時間ほどかかるという状況です。</p> <p>それを黒笹駅から県道を通して、三好ヶ丘を回らずに直接的に市役所の方へ行く路線も設定して欲しいという要望が一つありました。</p> <p>そして、昨年度の路線再編で黒笹駅から三好ヶ丘駅を回る路線も1時間に2本あったのが、路線が統一され1本になっていますので、それをまた復活してほしくないかという要望もありましたので、一度考えていただけないかなということをおもっています。</p>
松本副会長	<p>ありがとうございます。地域の要望ということで、そういった話がでていることを事務局も御認識いただければと思います。</p> <p>そういう形で、ぜひ地域の方々の御要望をこういう場でお伝えいただけると良いと思います。全部がかなうわけではないですが、お願いしたいと思います。</p>
増岡委員	<p>私は打越に住んでいますが、今日の資料にはありませんが、バス停別の乗降者数、いわゆるどのエリアでどのバス停から何人の人が利用しているかというデータを示してもらっています。</p> <p>私自身は車があつて健常者なため、バスの利用はなかなかありませんが、家の前をバスが通るので見ていると、ちょうど4月からさんさんバスが高齢者無料になって、曜日と時間帯によっては、今日はバスがたくさん乗っている、今日は少ないなどいろいろな状況を確認することができますが、はっきり言って65歳以上の高齢者が無料になりましたが、本当に実態として利用が増えているのかなと疑問があります。</p> <p>その辺のデータは近々出るのでしょうか。</p>
事務局	<p>昨年度においては路線再編をした年であったため毎回の会議でお示しをしていましたが、例年だと毎年度第1回目の会議で実績のお示しをしていまして、本日は御用意していませんでしたが、月別の利用者数としては、増加しています。</p> <p>昨年度実績では、月平均23,719人だったものが、本年度に入って月平均28,459人で約5,000人増加をしている状況です。</p> <p>内訳としては、本年度4か月間の実績で113,837人いますが、そのうちの39,453人が高齢者の利用ということで、割合だと約35%となっています。</p> <p>実績としては高齢者に限りませんが、全体として利用は増えている状況となっています。</p>
松本副会長	<p>ぜひ効果の計測、またその結果の御報告も、第1回の会議だけでなく、施策の開始年度については、毎回御報告いただくとうよろしいかもしれないですね。</p>
野澤委員	<p>私は正直な話、バスには乗ったことがあります、一度乗った時に三好ヶ丘駅に行こうとしたところ、逆の方向に乗ってしましまして、それが少しトラウマになってしまい、今会議にはいつも出ていますが、バスは苦手で乗っていません。</p> <p>65歳を過ぎまして無料で乗れるということですが、バスは乗り方が分かりにくい印象をもっています。</p> <p>今日たまたま発言する機会が回ってきましたので、言わせていただきますが、バスがいつ来るのかも分からず、難しいなと思います。その辺が改善されると良いと思いました。</p>
松本副会長	<p>おっしゃる通りだと思います。すごく貴重な御意見だと思いますが、おそらく多くの市民の方々は、野澤委員と同じような御意見をお持ちだと思います。</p> <p>どこに行くかわからない、どこを走っているかわからない、まさにそうだと思います。</p> <p>我々は一生懸命情報提供として路線図を作ったり、或いはGTFSなどを整備したりしていますが、それでもわからない方々が多いということを我々も認識する必要があります。</p> <p>やはりわかりやすさを意識し、改善していくという努力を忘れてはいけないと</p>

	<p>ということだと思います。</p> <p>我々も頑張りたいと思いますので、一緒に考え、今後も御意見、アドバイスをいただければと思います。ありがとうございました。</p>
新谷委員	<p>みよし市の公共交通はすごいなと実は思っていて、最初の頃から関わらせていただいていたので、そういう中では、本当に徐々に利用する人が増えてきていると思います。</p> <p>今年から65歳以上の無料化が始まって、周りで知っている人も5,000円とか6,000円削減できてすごい大きいという喜びの声も聞いています。</p> <p>やはり行政が行っている事業の中で、ハードな部分は相当頑張ってやっていたらと思うています。</p> <p>そうした中で、今乗り方についてもありましたが、市民側として、私も市民活動をしています、ソフトな部分をどれだけ自分たちの公共交通として大事にして、関わろうとしているかについては、なかなか不足するところが多くて、周知というの、一方的に行政に任せるのではなくて、私たちがやれること、待合の環境づくりとか乗り方を自分たちでわかるようにしていくとか、市民側としてあまり協力ができていないのは反省の部分がありまして、この会議にも出させてもらっているので、専門的な方のアドバイスを伺いながら、市民側で何ができるのかをこれから少しでも考えていけると良いと思っています。</p>
松本副会長	<p>すごく嬉しいお言葉だと思っていますが、やはり行政は行政で一生懸命取り組み、周知、或いはPR活動をされていますが、そこには限界があります。</p> <p>やはり受け手側の他の方々との協力も欠かせないと思います。</p> <p>そういう意味で、共創という言葉が今キーワードで流行っています。</p> <p>共に創ると書いて共創ですが、市民の方々、交通事業者さん、或いは交通以外のセクション、商工会などと一緒に作り上げていくという姿勢が問われています。</p> <p>まさにそういう時代になりつつありますので、みよし市におきましても市民の方々との共創、ぜひ取り組んでもらえると良いと思います。</p>
吉井委員	<p>私は、豊田市に住んでいて大学がみよし市にあり、さんさんバスには2回ほど乗車したことがあります。</p> <p>豊田市とは違って、ワンコインで乗れる点、それこそ私のような市外の人でもワンコインで乗れたり、キャッシュレスの決済が使えたりと初めて乗った時にすごく衝撃を受けました。</p> <p>そのため、私も新谷委員と同じようにこの行政の皆さまがすごくこの取組に力を入れているという点は、本当にありがたいと思う反面、野澤委員がおっしゃっていたように、乗り方がわからないというのは、特に感じていて、いいじゃんライン、さつきラインと言われて市外の人からすると、何が違うんだといったところで、語源はどこから来ているのかがわかりにくかったり、三好ヶ丘駅から大学まで乗りましたが、乗り口がかなり近いので、バスが停まった際に、果たしてこれはどこの方面に行くかがわからなかったりして、同じく待っていたおそらく65歳以上の高齢の方にお聞きして、不安になりながら乗った経験もあるので、少し難しいとは思いますが、この違いについてなどわかりやすくしていただけたら、今まで抵抗があった方も、より乗るようになって、さらに利用者の増加に繋がるのではないかと個人的に思いました。</p>
松本副会長	<p>利用者目線のすばらしい御意見をいただいたと思いますが、その回答も含めて市民代表の方々からいただいた御意見に対して事務局として御回答をお願いします。</p>
事務局	<p>貴重な御意見をありがとうございました。</p> <p>やはり、利用自体はコロナが落ち着いてきた、また路線再編したことにより伸びてきていますが、なかなか利用のしにくさについては把握できていなかった部分があったと市民代表の方々からお話をいただいて感じました。</p> <p>利用促進策ということでイベントなども行っていますが、根本の乗り方については、我々は何度も見ているバスなので判断ができる部分はありますが、やはり初めて利用される方にとっては、難しい部分があるということのを再認識しましたので、掲示方法といった案内の仕方についてももう少し市民ファーストで市民目</p>

	線に立ってやらせていただきたいなというふうに本日感じました。
松本副会長	ありがとうございます。バス停が分かりにくいというのは、何か停まる場所の問題でしょうか。山口委員も状況はわかりますでしょうか。
山口委員	三好ヶ丘駅での御乗車に関して、基本的には同じ場所に停車する形になっていますので、バスが連なっていると行き先がわかりにくいというのは、おっしゃる通りかとは思いますが、市と協議しながら、改善できる部分は改善していきたいと思えます。
松本副会長	<p>ありがとうございます。 実態を一度確認いただくとよろしいかもしれませんね。 御利用者視点での御意見の積み重ねで地域の公共交通は良くなっていくと思えますので、私は今日代理で進行を務めさせていただきながら急に皆さまに御意見を求めてしまって申し訳なかったですが、御理解いただければと思えます。 それでは、全体を通しまして皆さまからもその他何かございましたらお受けしますが、よろしかったでしょうか。</p> <p>【意見なし】</p> <p>以上で予定の議題はすべて終了になります。 代理ではございましたが、皆さまの御協力のおかげで無事進行することができました。感謝申し上げます。本当にありがとうございました。 それは進行を事務局にお返しいたします。</p>
典 礼 近藤都市計画課長	<p>松本先生につきましては急遽でしたが、進行ありがとうございました。 また、委員の皆さまも長時間にわたりありがとうございました。様々な視点から貴重な御意見をいただくことができました。 より良い公共交通の実現に向け、関係機関の方々と調整をさせていただきながら、今後も事業等を進めさせていただきたいと思っております。 また、次回会議の開催日時につきましては、会長と調整をさせていただきたいと思えますが、今のところ来年1月頃を予定しております。 その際、先ほど森からも説明があったかと思えますが、おでかけタクシーの速報値もお示しできればとを考慮しておりますので、よろしくお願ひします。 これもちまして、令和5年度第2回みよし市地域公共交通会議を終了いたします。 ありがとうございます。</p> <p>【閉会】</p>